



福井労働局発表
平成28年5月10日

担
当

福井労働局労働基準部健康安全課
労働基準部長 柘植 典久
労働衛生専門官 野崎 清隆
電 話 (0776) 22-2657

熱中症による労働災害発生状況について

福井労働局（局長 早木 武夫）では、このほど、福井県内における「過去10年間の職場での熱中症による労働災害の発生状況」をとりまとめました（別紙参照）。そのポイントとしては、以下のとおりです。

【ポイント】

- 平成19年から平成27年までの職場での熱中症による死傷者数は29人で、平成19年以降では毎年熱中症による労働災害が発生しています。
- 平成27年の熱中症による休業4日以上労働災害発生件数3件で、前年と同数でした。
- 業種別では、「建設業」が全体の48%を占めています。
- 月別発生状況では、7月及び8月に多発し、時間帯別発生状況では、午後2時台から午後4時台が全体の4割を超えています。
- 屋外作業の7割以上で、その日の最高気温が30℃以上のときに熱中症が発生しています。

これを踏まえ、福井労働局では、建設工事の発注機関や、建設業等の業界団体等に対し、熱中症予防対策の徹底について文書要請をいたしました。

○熱中症とは

高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウム等）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称であり、めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗、頭痛・気分不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感、意識障害・痙攣・手足の運動障害、高体温などの症状が現れます。

※○厚生労働省のホームページ「職場における熱中症予防対策」も併せて御参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html>

過去 10 年間の職場での熱中症による労働災害の発生状況(福井県)
(平成 18 年から平成 27 年分)

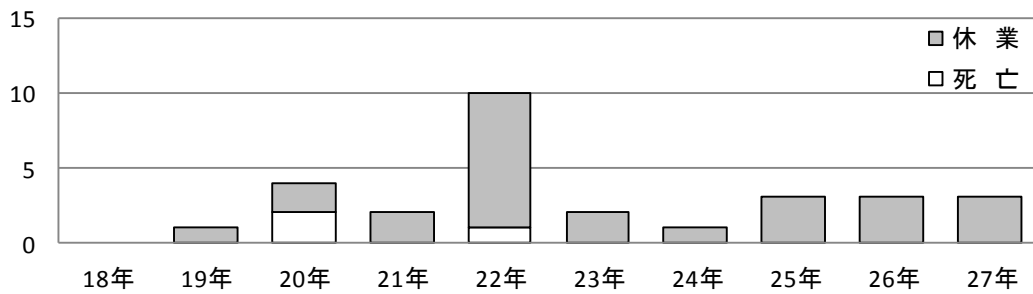
1 熱中症による死傷者数の推移

過去 10 年間の職場での熱中症による休業 4 日以上の子傷者数は、合計 29 人となっており、最高は平成 22 年の 10 人であった。平成 19 年以降は毎年発生している。熱中症による死亡災害は、平成 23 年以降は発生していない。

熱中症による休業 4 日以上の子傷災害の年別発生状況 (人)

年(平成)	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	合計
死亡			2		1						3
休業		1	2	2	9	2	1	3	3	3	26
合計	0	1	4	2	10	2	1	3	3	3	29
屋内			1			2	1		1		5

年別発生状況



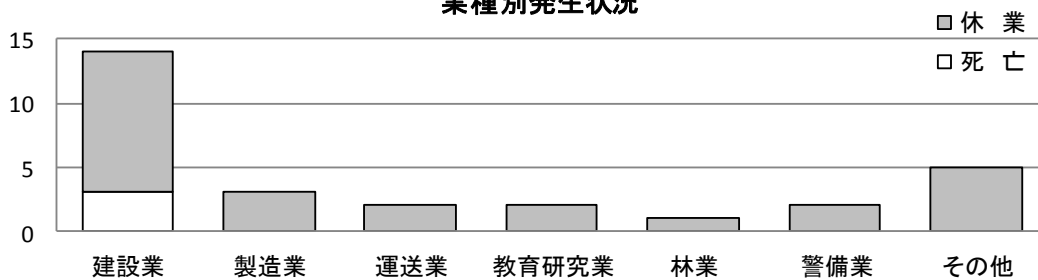
2 業種別発生状況

業種別の発生状況をみると、建設業が全体の約半数を占めている。

業種別発生状況 (人)

業種	建設業	製造業	運送業	教育研究業	林業	警備業	その他	合計
死亡	3							3
休業	11	3	2	2	1	2	5	26
合計	14	3	2	2	1	2	5	29

業種別発生状況



3 月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況

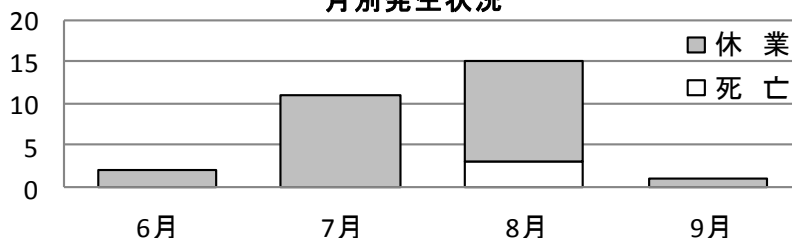
月別発生状況を見ると、7月及び8月に約9割が発生している。

なお、発生年月日は、最も早い日で6月12日であり、最も遅い日で9月6日である。

月別発生状況 (人)

月	6月	7月	8月	9月	合計
死亡			3		3
休業	2	11	12	1	26
合計	2	11	15	1	29

月別発生状況



(参考) 熱中症による月別・業種別発生状況 (人)

月	6月	7月	8月	9月	合計
建設業		6	8		14
製造業		1	2		3
運送業			2		2
教育研究業		1		1	2
林業			1		1
警備業		1	1		2
その他	2	2	1		5
計	2	11	15	1	29

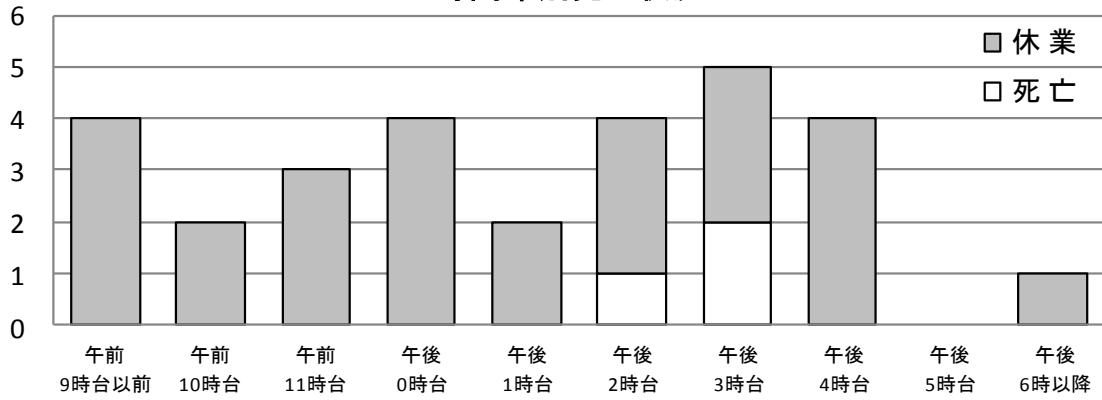
(2) 時間帯別発生状況

時間帯別発生状況を見ると、午前11時台から午後4時台の間に約7割が発生し、特に午後2時台から午後4時台に多発し、全体の約4割を超えている。

時間帯別発生状況 (人)

時間帯	午前9時台以前	午前10時台	午前11時台	午後0時台	午後1時台	午後2時台	午後3時台	午後4時台	午後5時台	午後6時以降	合計
死亡						1	2				3
休業	4	2	3	4	2	3	3	4		1	26
合計	4	2	3	4	2	4	5	4	0	1	29

時間帯別発生状況



4 熱中症が発生した屋外作業の気象条件

熱中症による死傷者数 29 人の作業環境は、屋外が 24 人、屋内が 5 人である。

熱中症が発生した屋外作業の気象条件は、その日の最高気温(災害発生時より前に限る。)が最も低い日で 24.3℃(同時刻の湿度は 95%)、最も高い日で 35.4℃(同時刻の湿度は 51%)であった。

なお、屋外作業における、熱中症が発生した日の最高気温(災害発生時刻より前に限る。)は、30℃以上での発生が 7 割以上を占めている。

5 熱中症による休業4日以上 of 労働災害の発生状況の詳細

No.	月	年	業種	発生 時間帯	屋外の 気温※	区分	事案の概要
1	6	23	その他	午前 10時台	-	休業	被災者は、店舗の倉庫(屋内)において在庫を整理中、体調不良となった。
2	6	22	その他	午後 3時台	29.5℃	休業	被災者は、配達作業中、体調不良となった。
3	7	26	製造業	午前 9時台	-	休業	原料処理作業場(屋内)において、高さ1m程度の台上で、原料小分け作業を約1時間実施後、体調不良となった。
4	7	26	建設業	午前 9時台	25.0℃	休業	前日に午前7時頃から1日中屋外で草刈り作業を実施し、多量の発汗があった。その翌日出勤するものの、直後に体調不良となった。
5	7	21	建設業	午前 10時台	24.3℃	休業	被災者は、事業場内の機材倉庫において、機材整理作業中、体調不良となった。
6	7	26	警備業	午前 11時台	34.5℃	休業	交通誘導の業務を実施していたが、体調不良となった。
7	7	19	その他	午後 0時台	27.1℃	休業	被災者は、畑において、片付け等の作業中、体調不良となった。
8	7	25	建設業	午後 0時台	33.6℃	休業	被災者は、工事のため現場調査作業中、体調不良となった。
9	7	22	建設業	午後 1時台	33.4℃	休業	被災者は、土木工事現場において、道路掘削等の作業中、体調不良となった。
10	7	22	建設業	午後 3時台	32.6℃	休業	被災者は、家屋の解体現場において、窓枠の解体作業中、体調不良となった。
11	7	22	建設業	午後 4時台	29.0℃	休業	被災者は、住宅新築工事現場において、スコップを用いて外構の掘削作業中、体調不良となった。
12	7	21	教育研究業	午後 4時台	27.8℃	休業	被災者は、遺跡の発掘調査現場において、草刈り作業中、体調不良となった。
13	7	20	その他	午後 4時台	34.3℃	休業	被災者は、現場で廃棄物の搬出作業中、体調不良となった。
14	8	22	建設業	午前 9時以前	31.8℃	休業	被災者は、木造住宅新築現場において、建方2日目の外壁取付作業中、体調不良となった。
15	8	25	農業	午前 9時以前	24.7℃	休業	被災者は、水田での防草剤散布作業中、体調不良となった。
16	8	27	建設業	午前 11時台	33.7℃	休業	被災者は、トラックで運んできた工事用機材の整理作業中、体調不良となった。
17	8	23	建設業	午前 11時台	-	休業	被災者は、ビル新築工事現場(屋内)において、設備工事中、体調不良となった。

18	8	27	建設業	午後 0時台	34.1℃	休業	被災者は、基礎工事のためのコンクリート打設作業中、体調不良となった。
19	8	24	製造業	午後 0時台	-	休業	派遣労働者である被災者は、夏季休暇明けに、工場(屋内)の炉の輻射熱に加え、気候による温度上昇のため、体調不良となった。
20	8	22	林業	午後 2時台	35.4℃	休業	被災者は、草刈り作業中、体調不良となった。
21	8	20	製造業	午後 2時台	-	休業	被災者は、炉が設置されている工場内(屋内)で、荷物の積降作業中、体調不良となった。
22	8	20	建設業	午後 2時台	33.0℃	死亡	被災者は、解体工事現場において、廃材の仕分作業中、体調不良を起こし、その後死亡した。
23	8	25	建設業	午後 2時台	32.9℃	休業	被災者は、道路舗装工事で転圧作業中、体調不良となった。
24	8	22	運送業	午後 3時台	33.1℃	休業	被災者は、屋外において、トラックの荷台に反物手積中、体調不良となった。
25	8	22	建設業	午後 3時台	31.6℃	死亡	被災者は、パイプライン修繕工事において、廃材運搬作業に従事していたが、倒れているところを発見され、その後死亡した。
26	8	20	建設業	午後 3時台	34.1℃	死亡	被災者は、造成工事現場において、土木作業中、倒れているところを発見され、その後死亡した。
27	8	27	警備業	午後 4時台	32.9℃	休業	被災者は、花火大会周辺の交通誘導作業中、体調不良となった。
28	8	22	運送業	午後 6時以降	28.0℃	休業	被災者は、引越し作業終了後、体調不良となった。
29	9	22	教育研究業	午後 1時台	34.6℃	休業	被災者は、遺跡の発掘工事現場において、スコップを用いて掘削作業中、体調不良となった。

※熱中症が発生した日の発生地域の最高気温(災害発生時刻より前に限る。)